

施 設 修 繕 仕 様 書

1. 件 名 市川市動植物園サル山放飼場日除け等設置修繕

2. 契約期間 令和8年8月20日 ～ 令和8年10月21日

3. 施行場所 市川市大町284番地1

4. 修繕概要 本修繕はサル山内に日除け及び土場を設置して遮熱対策を図ると同時に、遊び場を広げてサルの福祉向上に努めると同時に、車椅子及びベビーカーが通行し易くなるようにゴムマットを設置して、利用者の利便性の向上を図ることを目的とするもの。

5. 修繕内容

- | | |
|----------|------|
| ・日除け施設設置 | 3 か所 |
| ・土場設置 | 2 か所 |
| ・ゴムマット設置 | 1 か所 |

6. 留意事項

- ・契約後速やかに業務に取り掛かり、工期の短縮に努めること。
- ・作業日時は平日の9時30分から16時30分までとする。
- ・8月31日（月）から10月19日（月）まではサル山周囲にフェンスバリケード、B型バリケード及び、目隠しシートを設置してサル山の観覧を制限すること。ただし、9月のシルバーウィーク（9月19日から9月23日まで）期間中については、フェンスバリケード、B型バリケード及び目隠しシートを一時的に撤去して、サル山を観覧できるようにすること。
- ・サル山内での作業については、休園日の10時から15時までとする。
- ・クレーン車を使用する場合は休園日に行うこと。
- ・作業時間以外はサル山を開放しているため、作業終了時に必ず突起部や危険な箇所が無いように片付け及び養生を徹底してサルが怪我をしないようにすること。
- ・サル山内に入る前に必ず靴底の消毒を行うこと。

7. 実施方法

○日除け施設設置

- ・設置箇所については監督職員に確認すること。
- ・角パイプの接合については原則として溶接仕上げとする。なおアングル、ボルトによる固定に変更したい場合は事前に協議を行って決定すること。
- ・ボルト固定を行った角パイプについては、下部に水抜き穴（φ10程度）を設けて内部に水が溜まらないようにすること。
- ・梯子については支柱に穴を開け、踏み栈を差し込んだ後に溶接を行って固定すること。

- ・2×4材についてはタナリス注入材とする。
- ・角パイプの開放部についてはキャップ留めを行うこと。
- ・木材は組立前に塗装を行うこと。
- ・塗装色については焦げ茶色とし、使用する塗料は水性スーパーコート同等品以上とし、全面塗装1回塗りとする。
- ・杉足場板と2×4材との連結については、コーススレッド（SUS）にて固定すること。
- ・組立、溶接及び塗装についてはアルパカ舎裏西側のスペースで行い、完成後クレーン車にてサル山内に吊り入れること。

○土場設置

- ・設置箇所については監督職員に確認すること。
- ・位置出し後、コア削孔を行うこと。
- ・一本杭、土留め板は再生プラスチック製とし、プラウッド（PWD30200D3）同等品以上とする。
- ・高さ、通りに注意しながら一本杭を打ち込むこと。なお、杭周囲の隙間については山砂にて埋め戻すこと。
- ・コーススレッドを用いて一本杭に土留め板を固定すること。なお、土留め板下面とG L面の間に10 mm程度のクリアランスを設けて土場内の水を排水できるようにして、土場内に滞水しないようにすること。
- ・土留め板の縦継ぎ目面にゴムシート（t=2、100×500）を設けて山砂の流出を防ぐこと。
- ・枕土のうに単粒度碎石5号を充填し、土留め板下部に敷き詰めて山砂が流出しないようにすること。
- ・枕土のうがずれないように注意しながら山砂を投入すること。なお、投入後に軽く締固めを行うこと。

○ゴムマット設置

- ・設置箇所については監督職員に確認すること。
- ・表面の砂利を取り除いて不陸整正を行った後に、滑り止め付きゴムマット（黒色、1000×2000×10）18枚を並べ、端部がめくれないようにコの字型鉄ピン（φ3.5 150×30）を6か所/枚打ち込んでゴムマットを固定すること。

8. その他

- （1）資材置き場として臨時駐車場の一部を使用できるものとする。
- （2）発生材については適正に処理を行うこと。
- （3）修繕完了後、速やかに完成届並びに工程写真等関係書類を提出し、検査職員の検査を受けること。
- （4）本仕様書に定める事項および記載のない事項について疑義が生じた場合は、監督職員と協議して決定するものとする。